

2024 年 10 月 12 日

| 科目名 | 受験番号： | 採点欄 |
|-----------|-------|-----|
| 刑事法演習（刑法） | 氏名： | |

問題 以下の問題から **1問を選択し**、答えなさい。

問題 1 過失犯の成立要件について説明しなさい。その際、成立要件の存否が問題となる事例（判例でも、架空の設例でもよい）を挙げ、個々の要件の具体的なあり方についても説明してください。

問題 2 以下の事例について、設問 1～設問 4 のすべてに答えなさい。

事例：

X は、自己が住むアパートに放置されていた無施錠の自転車（以下、本件自転車とする）を、1 時間程度で返却するつもりで、無断で利用した。しかし、本件自転車で向かった先のコンビニエンスストアで友人 A と遭遇し、一緒に食事を始めたため、実際に返却したのは無断利用を始めてから 10 時間後であった。

なお、本件自転車は、B が所有しているものであるが、何者かによって窃取され、X のアパートの駐輪場に放置されたものである。

設問 1 : X の行為について占有離脱物横領罪（刑法 254 条）が問題になるとして、同罪の成立要件のうち、もっとも検討を要するものを答えなさい。

設問 2 : 設問 1 で答えられた成立要件の要否、内容についてどのような見解があるかを述べなさい。

設問 3 : 設問 2 で答えられた争点について受験者はどのように考えるかを述べなさい。

設問 4 : 設問 3 の答えを踏まえ、「事例」における X の罪責について述べなさい。